

2024 年 4 月 25 日

各 位

金沢信用金庫

中小企業景気動向調査の結果について

金沢信用金庫（理事長 広岡 克憲）では、中小企業景気動向調査を四半期毎に実施しています。つきましては、今期（2024 年 1～3 月）の調査結果を下記のとおりご案内いたします。

記

概況 [業況・売上額・収益ともに悪化]

金沢信用金庫が行った中小企業 160 社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内 200 社・回答率 80.0%）の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断 D I（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は▲17.5（前期 2.5）と 20.0 ㊦悪化しました。

業種別では、不動産業は 30.8（前期 7.1）と 23.7 ㊦改善しましたが、製造業が▲30.0（前期▲2.2）と 27.8 ㊦ほか、卸売業が▲46.2（前期▲6.3）と 39.9 ㊦、小売業が▲40.0（前期▲13.3）と 26.7 ㊦、建設業が 3.7（前期 23.1）と 19.4 ㊦、サービス業が 0.0（前期 12.0）と 12.0 ㊦悪化した。全産業ベースでの来期予想 D I は▲12.5 と 5.0 ㊦の改善を予想しています。

また、全産業ベースの売上額判断 D I は▲20.6（前期 3.8）と 24.4 ㊦悪化、収益判断 D I も▲24.4（前期▲7.6）と 16.8 ㊦悪化しました。来期予想では、売上額判断 D I が 11.3 と 31.9 ㊦の改善、収益判断 D I も 2.5 と 26.9 ㊦の改善を予想しています。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」（全回答中 42.5%）で、以下、「人手不足」（全回答中 35.0%）、「原材料高」（全回答中 23.1%）です。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」（全回答中 46.3%）で、以下、「販路を広げる」（全回答中 35.6%）、「人材を確保する」（全回答中 33.8%）という結果となりました。

（注）2023 年 10～12 月を前期、2024 年 1～3 月を今期、2024 年 4～6 月を来期といいます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢信用金庫 営業店サポート部

〒920-8710 金沢市南町 1-1

TEL (076) 231-0274 (ダイヤルイン)

FAX (076) 231-7864

<https://www.shinkin.co.jp/kanazawa/>